



庄原自治振興区だより

第 124号 平成 29年 2月 20日 発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目 17 番 15 号
TEL/FAX
(0824) 72-3777



宮内自治会



大黒上自治会



大久保西自治会



春の全国火災予防運動 平成 29 年 3 月 1 日 (水) ~ 3 月 7 日 (火)



第 10 回 役員会報告 (1 月 24 日) 協議事項等は次の通りです。



- (1) 各種活動助成金申請・審査会について
 - ・自治会活性化補助金・・・・・・・・・・審査会：振興区会議室、1 月 31 日(火) 13 時 30～
 - ・自主防災活動育成助成金・・・・・・・・・・申請書提出期限 1 月 31 日(火) 審査会：2 月中旬予定
- (2) 平成 28 年度防犯・防災研修会について
 - ・防犯研修会・・・・・・・・2 月 28 日(火)、16 時 30～予定、講師：藤川庄原警察署長、於：庄原 GH
- (3) 自治会活動発表・・・・・・・・・・宮内：光廣自治会長、次回予定、永末：三河内自治会長

平成 28 年度 第 2 回福祉団体連携会議開催

1 月 17 日（火）、庄原地区民生委員児童委員協議会・庄原地区ひとり暮らし高齢者等巡回相談員連絡協議会庄原支部・庄原市社会福祉協議会・庄原地区社会福祉協議会・庄原地域包括支援センター（高齢者福祉課）・庄原自治振興区の 6 団体、19 名で福祉団体連携会議を開催しました。

議題として、(1) 高齢者等見守りネットワークについて⇒①宅配、検針業者等から通報があった場合の対応マニュアルについて ②宅配、検針業者等への「見守り活動」の協力依頼について
(2) いのちのバトンの取り組みについて⇒冷蔵庫での保管の意を表すシールの作成経費について
(3) 福祉関係団体合同研修会の開催について

今後も関係団体と連携を取りながら取り組んで参りたいと思います。

新年行事



美湯ハイツ自治会



大胡自治会



実業通自治会



新道上・下自治会



とんど

大歳下自治会



西上自治会



西下自治会



永末自治会



下本町自治会



川手中自治会



川手上自治会



川手沖自治会



川手下自治会



おいしかったよ「手づくりピザ」

上野県営住宅を含む「さくら子供会」は、加入戸数 14 戸の会員 25 名で活動を実施しております。

ここで今年の活動内容を紹介しますと、春には中学校に入学する会員に図書カードの記念品、小学校に入学して新たに「さくら子供会」の会員になる新入生にも、お祝いとして記念品を渡しております。

また、夏休みには世代間交流活動として、お年寄り 8 名と一緒にラジオ体操を行います。夏休みの最後には、班から図書カードとお菓子のプレゼントが班長から一人ひとりの子ども達に贈呈され大変喜んでくれました。

子ども会活動の中で一番の楽しみは、昨年までは親子ボーリング大会でしたが今年は 9 月に、「三次ハーブ園」へ親子 37 名が参加、子ども達と一緒に「手づくりピザ」をつくって食べながらの交流会を行ったことだと思います。

そしてクリスマスは、地域の集会所に親子 16 名が集まって、クリスマスケーキやお菓子をいただきながらビンゴゲームと座布団取りゲームに夢中になり、時間が経つのを忘れて楽しんでおりました。

会は、加入世帯 1 戸当たり 1,000 円の会費と自治会から 35,000 円の活動助成金で運営しています。地域の高齢者とふれあう機会が少なくなってきた今日ですが、子ども達の元気な笑顔が私たちを勇気づけてくれる「さくら子供会」の活動状況です。



庄原小学校総合学習への協力

— 地域マネージャー 奥田虎昭 —

庄原自治振興区地域振興計画の「歴史文化継承事業」の一環として、昨年 10 月 13 日（木）、庄原小学校 6 年生の総合学習に協力しました。

JR 庄原駅から庄原小学校の間を生徒のグループに同伴して、地形的に見た庄原の成り立ちや市街地発展の様子を説明し、また教室では別のグループに、伝説「火村さん」について当時の社会的背景や登場人物等、生徒の学習成果を補足しました。

この取り組みを通して、生徒の学習意欲（故郷への関心度）の高さに感銘を受けました。



3月の振興区主催行事予定

7 日（火）自治振興区総務企画会議	13:30～
14 日（火）自治振興区理事会	13:30～
15 日（水）上野池クリーン作戦	9:00～
21 日（火）環境防犯パトロール	9:00～
（川手上・川手沖・川手中・川手下の各自治会長）	
28 日（火）自治振興区役員会	13:30～
毎週 1 回 青少協防犯声掛けパトロール	



編集後記

“春を待つ”

年の始め、庄原市内の居酒屋で季節はずれの蕨の薹（ふきのとう）を頂いた。近くの畑から摘んで来たものと聞いて驚いた。昨年も正月に梅が咲き、高野では数十年ぶりに黒土の畑から大根を抜いたニュースが話題になった。温暖化の影響で自然環境に異変が続くようだと、あながち暖冬も歓迎できない。寒い冬を耐えて、三寒四温を重ねながら山菜が芽吹きを始める本格的な春が待ち遠しい。

スポーツの話題では、新年早々、稀勢の里横綱昇進という大輪の花が咲き、日本中の大相撲ファンが喜びました。

「蕨の薹春の微熱はほろ苦い」

I 記

